

ノムラ・ボンド・インカム・オープン

運用報告書(全体版)

第110期（決算日2025年12月22日） 第111期（決算日2026年3月23日）

作成対象期間（2025年9月23日～2026年3月23日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	1998年7月30日から2029年3月21日までです。
運用方針	公社債への投資にあたっては、ソブリン債および国際機関の発行した債券を中心とした優良クレジットの債券に分散投資することを基本とします。ポートフォリオのデュレーションは、原則として概ね1～3年程度で4年を超えない範囲内に維持することを基本とします。カントリーアロケーション、デュレーションおよび為替ヘッジ比率をアクティブに変更することで収益の獲得を目指します。先物取引等も適宜活用します。
主な投資対象	日本を含む世界先進主要国の公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への直接投資は行いません。株式への投資は転換社債を転換および新株予約権を行使したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の10%未満とします。
分配方針	年4回の毎決算時に、繰越分を含めた利子・配当収入と売買益等から基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

0120-753104（受付時間）営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率		ベンチマーク		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		米	日	FTSE世界国債 インデックス(1-3年) 為替100%ヘッジ	騰落率			
102期(2023年12月21日)	円 7,593	円	%	108.74	0.9	92.0	—	百万円 3,377
103期(2024年3月21日)	7,479	10	△1.4	107.80	△0.9	97.0	—	3,263
104期(2024年6月21日)	7,386	10	△1.1	107.42	△0.3	94.8	—	3,185
105期(2024年9月24日)	7,510	10	1.8	108.65	1.1	83.6	—	3,219
106期(2024年12月23日)	7,283	10	△2.9	107.73	△0.8	73.7	—	3,089
107期(2025年3月21日)	7,334	10	0.8	107.86	0.1	72.7	—	3,075
108期(2025年6月23日)	7,406	10	1.1	108.07	0.2	86.4	—	3,080
109期(2025年9月22日)	7,435	10	0.5	108.30	0.2	90.3	—	3,040
110期(2025年12月22日)	7,406	10	△0.3	108.35	0.0	98.0	—	2,974
111期(2026年3月23日)	7,305	10	△1.2	107.72	△0.6	97.1	—	2,881

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* FTSE世界国債インデックス(1-3年)は、FTSE Fixed Income LLCが開発した世界先進主要国短期国債(1-3年)市場全体のパフォーマンスを表す代表的な指数の一つです。ファンドは、当インデックスの対円での為替100%ヘッジベースをベンチマークとします。

* 当ベンチマークは、設定時を100として指数化しています。

* FTSE世界国債インデックス(1-3年)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(出所) FTSE Fixed Income LLC

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

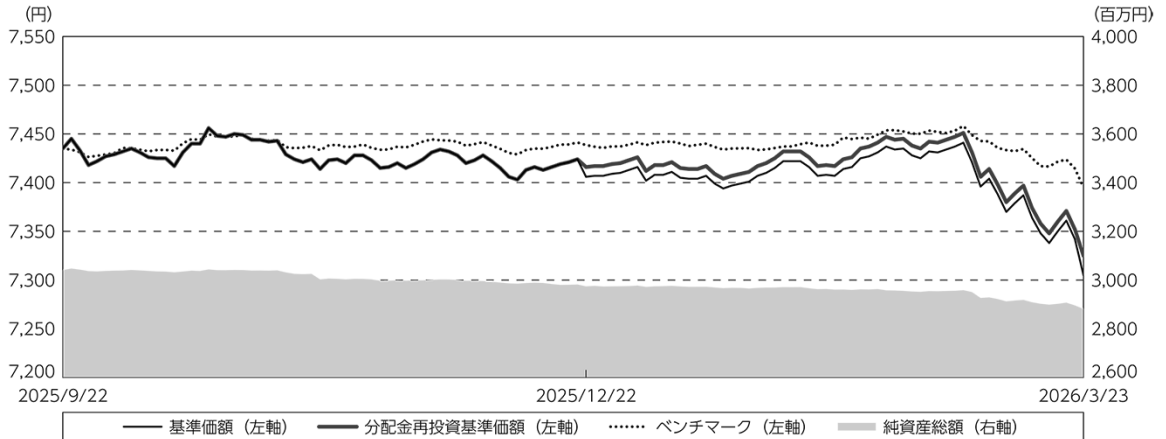
決算期	年月日	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	債券先物比率
		騰落率	騰落率	FTSE世界国債 インデックス(1-3年) 為替100%ヘッジ	騰落率		
第110期	(期首) 2025年9月22日	円 7,435	% —	108.30	% —	90.3	% —
	9月末	7,427	△0.1	108.21	△0.1	90.5	—
	10月末	7,424	△0.1	108.31	0.0	99.5	—
	11月末	7,432	△0.0	108.42	0.1	96.4	—
	(期末) 2025年12月22日	7,416	△0.3	108.35	0.0	98.0	—
第111期	(期首) 2025年12月22日	7,406	—	108.35	% —	98.0	% —
	12月末	7,416	0.1	108.39	0.0	97.5	—
	2026年1月末	7,422	0.2	108.37	0.0	95.1	—
	2月末	7,437	0.4	108.57	0.2	96.4	—
	(期末) 2026年3月23日	7,315	△1.2	107.72	△0.6	97.1	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第110期首：7,435円

第111期末：7,305円 (既払分配金(税込み)：20円)

騰落率：△ 1.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2025年9月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(1-3年)為替100%ヘッジです。ベンチマークは、作成期首(2025年9月22日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- (上昇) 保有する債券からの利息収入。
- (下落) 保有する債券の価格の下落。
- (下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

○投資環境

債券市場<債券利回りは米国・ドイツ・日本で上昇>

米国では、米国とイスラエルがイランへの軍事攻撃を開始し、中東情勢悪化に伴う原油高によってインフレ懸念が高まり、FRB（米連邦準備制度理事会）の追加利下げ観測が後退したことなどから、債券利回りが上昇し、価格は下落しました。

ユーロ圏では、中東情勢悪化に伴う原油高を通じたインフレ懸念により、ECB（欧州中央銀行）の利上げ観測が高まったことなどから、ドイツの債券利回りは上昇しました。

日本では、高市政権の積極的な財政支出や日銀の追加利上げが意識されたことなどから、債券利回りが上昇し、価格は下落しました。

為替市場<円に対して米ドル・ユーロは上昇>

高市政権の積極的な財政支出による財政赤字拡大への懸念が円売り圧力となったことなどから、円に対して米ドルやユーロは上昇しました。

○当ファンドのポートフォリオ

・組入債券について

債券組入比率：当作成期を通じて、概ね高めを維持しました。

債券の種類：組入債券の信用力に留意し、国債を中心に高格付け債券に投資しました。

・ファンド全体のデュレーション（※1）

<ファンドのデュレーション>

ファンド全体のデュレーションは、当作成期首から概ね維持しました。当作成期末において、ファンド全体のデュレーションはベンチマークに対して長期化としました。

（※1）デュレーションは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り低下時の価格上昇率が大きくなり、利回り上昇時には価格下落率が大きくなります。

・為替のエクスポージャー（※2）

当作成期を通じて対円での全体の為替エクスポージャーは抑えめとしました。

（※2）為替エクスポージャーとは、外国債券を中心とした外貨建資産のうち、為替ヘッジを行っていない部分の純資産額に対する比率のことです。比率が高いほど円安時には為替差益が、円高時には為替差損が発生しやすくなります。当ファンドの為替エクスポージャーは最大限で20%までです（純資産の100%を外貨建てで保有した場合）。

○当ファンドのベンチマークとの差異

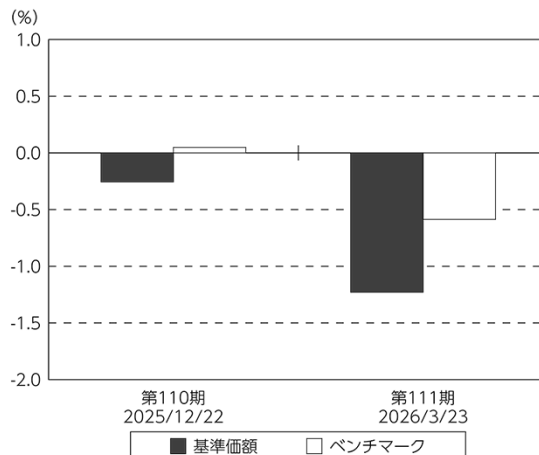
基準価額（分配金再投資）の騰落率は-1.5%となり、ベンチマークの-0.5%を1.0ポイント下回りました。

(主なマイナス要因)

通貨配分において、米ドルをアンダーウェイト（ベンチマークに比べ低めの投資比率）、ユーロをオーバーウェイト（ベンチマークに比べ高めの投資比率）としていたところ、米ドルがユーロに対して上昇したこと。

ファンド全体のデュレーションをベンチマークに対して長期化としたところ、債券利回りが上昇したこと。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（1-3年）為替100%ヘッジです。

◎分配金

収益分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、次表の通りとさせていただきます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万円当たり・税込み)

項目	第110期	第111期
	2025年9月23日～ 2025年12月22日	2025年12月23日～ 2026年3月23日
当期分配金	10	10
(対基準価額比率)	0.135%	0.137%
当期の収益	10	10
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	2,478	2,515

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

当ファンドは、国内外の金融市場について精緻な投資環境リサーチ及び分析を行ない、好収益が期待できる債券や為替市場への投資を行ないます。金利リスク・国別投資配分リスクに加えて、為替変動リスクもコントロールすることで、より分散されたポートフォリオ構築に努めて参ります。

米国では、中東情勢悪化を受けたエネルギー高への警戒が債券利回りの上昇要因として働く一方で、軟調な労働市場を背景とするFRBの先々の追加利下げに対する市場の期待が債券利回りの低下要因として働き、債券利回りの大きな方向感が出にくいと予想します。欧州では、ドイツの債券利回りは、ユーロ圏域内の景気回復ペースの鈍化などから低下しやすいと予想します。日本では、海外の債券利回りの低下が低下要因として働く一方で、日銀の緩和的な金融政策からの転換に対する警戒が上昇要因として働き、大きな方向感が出にくいと予想します。ファンド全体のデュレーションはベンチマークに対して長期化とする方針です。また、通貨配分については、ヘッジ比率の調整により米ドルをアンダーウェイト、欧州通貨をオーバーウェイトとします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年9月23日～2026年3月23日)

項 目	第110期～第111期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 27	% 0.367	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(13)	(0.176)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(12)	(0.165)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.014	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	28	0.381	
作成期間の平均基準価額は、7,426円です。			

* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

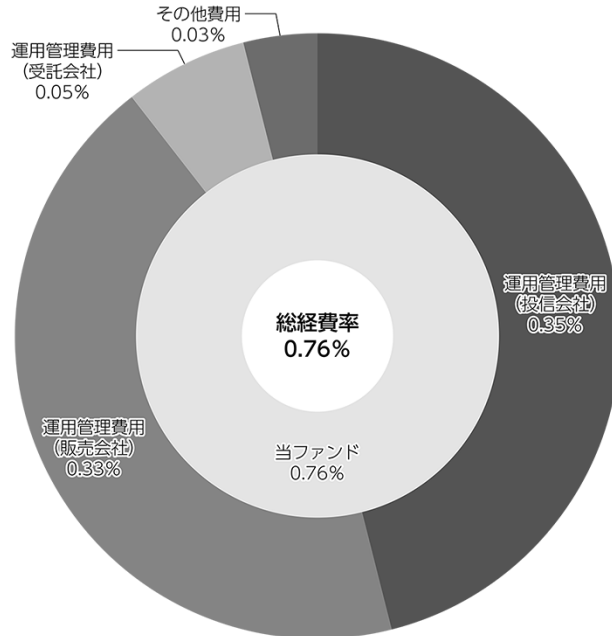
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.76%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年9月23日～2026年3月23日)

公社債

			第110期～第111期		
			買付額	売付額	
国内	国債証券		千円 53,015	千円 114,945	
	外国	アメリカ	国債証券	千米ドル 11,774	千米ドル 12,605
カナダ		国債証券	千カナダドル 697	千カナダドル 900	
イギリス		国債証券	千英ポンド 1,057	千英ポンド 608	
スウェーデン		国債証券	千スウェーデンクローナ 3,395	千スウェーデンクローナ -	
ノルウェー		国債証券	千ノルウェークローネ -	千ノルウェークローネ 7,112	
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ	
		ドイツ	国債証券	3,788	1,641
		フランス	国債証券	201	299
		スペイン	国債証券	-	703
		マレーシア	国債証券	千リンギ 707	千リンギ -
		オーストラリア	国債証券	千豪ドル 1,243	千豪ドル 1,350
		ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル -	千ニュージーランドドル 2,353
		メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 2,250	千メキシコペソ -

*金額は受け渡し代金。(経過利分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年9月23日～2026年3月23日)

利害関係人との取引状況

区分	第110期～第111期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 850	百万円 27	% 3.2	百万円 974	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2026年3月23日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	第111期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	21,000	19,811	0.7	—	0.5	0.2	—
合 計	21,000	19,811	0.7	—	0.5	0.2	—

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第111期末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
国庫債券 利付(5年)第172回	0.5	6,000	5,814	2029/6/20
国庫債券 利付(10年)第372回	0.8	8,000	7,326	2033/9/20
国庫債券 利付(10年)第380回	1.7	7,000	6,670	2035/9/20
合 計		21,000	19,811	

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第111期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	8,830	8,810	1,405,403	48.8	—	1.2	8.3	39.3
カナダ	千カナダドル 100	千カナダドル 98	11,453	0.4	—	—	—	0.4
イギリス	千英ポンド 1,250	千英ポンド 1,202	255,278	8.9	—	4.5	4.3	—
スウェーデン	千スウェーデンクローナ 3,500	千スウェーデンクローナ 3,378	57,609	2.0	—	—	2.0	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	2,170	2,110	388,356	13.5	—	8.4	5.0	—
フランス	1,500	1,496	275,495	9.6	—	—	—	9.6
スペイン	800	798	146,953	5.1	—	—	—	5.1
シンガポール	千シンガポールドル 150	千シンガポールドル 154	19,231	0.7	—	—	0.7	—
マレーシア	千リンギ 700	千リンギ 705	28,571	1.0	—	—	1.0	—
中国	千人民元 4,300	千人民元 4,592	106,069	3.7	—	3.7	—	—
オーストラリア	千豪ドル 500	千豪ドル 483	53,985	1.9	—	—	—	1.9
メキシコ	千メキシコペソ 3,200	千メキシコペソ 3,172	28,150	1.0	—	0.3	—	0.7
合 計	—	—	2,776,559	96.4	—	18.2	21.3	56.9

*邦貨換算金額は、第111期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	第111期末						
		利率	額面金額	評価額		償還年月日		
				外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円			
	国債証券	US TREASURY N/B	3.75	2,200	2,195	350,183	2027/6/30	
		US TREASURY N/B	3.875	4,900	4,895	780,945	2027/12/31	
		US TREASURY N/B	3.75	1,500	1,493	238,261	2028/12/31	
		US TREASURY N/B	3.875	230	225	36,013	2032/12/31	
小	計					1,405,403		
カナダ				千カナダドル	千カナダドル			
	国債証券	CANADIAN GOVERNMENT	2.25	100	98	11,453	2028/2/1	
小	計					11,453		
イギリス				千英ポンド	千英ポンド			
	国債証券	UK TREASURY	4.25	300	294	62,499	2032/6/7	
		UK TREASURY	3.25	350	319	67,909	2033/1/31	
		UNITED KINGDOM GILT	4.125	600	588	124,870	2031/3/7	
小	計					255,278		
スウェーデン				千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ			
	国債証券	SWEDISH GOVERNMENT	0.75	3,500	3,378	57,609	2028/5/12	
小	計					57,609		
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ			
	ドイツ	国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	2.4	800	788	145,046	2030/11/15
			BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	2.3	1,370	1,321	243,310	2033/2/15
	フランス	国債証券	FRANCE (GOVT OF)	2.5	1,500	1,496	275,495	2027/9/24
	スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	2.5	800	798	146,953	2027/5/31
小	計					810,805		
シンガポール				千シンガポールドル	千シンガポールドル			
	国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT	2.875	150	154	19,231	2028/8/1	
小	計					19,231		
マレーシア				千リンギ	千リンギ			
	国債証券	MALAYSIA GOVERNMENT	3.519	700	705	28,571	2028/4/20	
小	計					28,571		
中国				千人民元	千人民元			
	国債証券	CHINA GOVERNMENT BOND	2.67	4,300	4,592	106,069	2033/5/25	
小	計					106,069		
オーストラリア				千豪ドル	千豪ドル			
	国債証券	AUSTRALIAN GOVERNMENT	2.75	500	483	53,985	2027/11/21	
小	計					53,985		
メキシコ				千メキシコペソ	千メキシコペソ			
	国債証券	MEX BONOS DESARR FIX RT	8.5	2,200	2,220	19,708	2028/3/2	
		MEX BONOS DESARR FIX RT	7.75	1,000	951	8,442	2031/5/29	
小	計					28,150		
合	計					2,776,559		

* 邦貨換算金額は、第111期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2026年3月23日現在)

項 目	第111期末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 2,796,370	% 96.4
コール・ローン等、その他	104,600	3.6
投資信託財産総額	2,900,970	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*第111期末における外貨建純資産(2,857,521千円)の投資信託財産総額(2,900,970千円)に対する比率は98.5%です。

*外貨建資産は、第111期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=159.52円、1カナダドル=116.24円、1英ポンド=212.35円、1スウェーデンクローナ=17.05円、1ノルウェークローネ=16.62円、1デンマーククローネ=24.64円、1ユーロ=184.05円、1ズロチ=43.0374円、1シンガポールドル=124.32円、1リンギ=40.5131円、1人民元=23.0972円、1豪ドル=111.55円、1ニュージーランドドル=92.82円、1メキシコペソ=8.8739円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第110期末	第111期末
	2025年12月22日現在	2026年3月23日現在
(A) 資産	6,036,342,614 円	5,742,523,440 円
コール・ローン等	79,481,998	41,252,383
公社債(評価額)	2,915,024,511	2,796,370,454
未収入金	3,005,240,426	2,878,812,134
未收利息	24,256,776	20,802,978
前払費用	11,444,062	3,900,680
その他未収収益	894,841	1,384,811
(B) 負債	3,062,300,547	2,861,351,100
未払金	3,051,970,735	2,847,243,754
未払収益分配金	4,015,640	3,944,231
未払解約金	751,787	4,710,338
未払信託報酬	5,541,538	5,428,501
その他未払費用	20,847	24,276
(C) 純資産総額(A-B)	2,974,042,067	2,881,172,340
元本	4,015,640,724	3,944,231,875
次期繰越損益金	△1,041,598,657	△1,063,059,535
(D) 受益権総口数	4,015,640,724口	3,944,231,875口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,406円	7,305円

(注) 第110期首元本額は4,090,060,987円、第110～111期中追加設定元本額は42,929,854円、第110～111期中一部解約元本額は188,758,966円、1口当たり純資産額は、第110期0.7406円、第111期0.7305円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額445,558円。

○損益の状況

項 目	第110期	第111期
	2025年9月23日～ 2025年12月22日	2025年12月23日～ 2026年3月23日
	円	円
(A) 配当等収益	25,146,394	24,009,355
受取利息	24,797,974	23,631,231
その他収益金	348,420	378,124
(B) 有価証券売買損益	△ 26,864,357	△ 54,450,522
売買益	200,204,951	145,427,374
売買損	△ 227,069,308	△ 199,877,896
(C) 信託報酬等	△ 5,722,044	△ 5,660,740
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 7,440,007	△ 36,101,907
(E) 前期繰越損益金	△ 491,306,305	△ 491,031,232
(F) 追加信託差損益金	△ 538,836,705	△ 531,982,165
(配当等相当額)	(712,415,555)	(701,325,342)
(売買損益相当額)	(△1,251,252,260)	(△1,233,307,507)
(G) 計(D+E+F)	△1,037,583,017	△1,059,115,304
(H) 収益分配金	△ 4,015,640	△ 3,944,231
次期繰越損益金(G+H)	△1,041,598,657	△1,063,059,535
追加信託差損益金	△ 538,836,705	△ 531,982,165
(配当等相当額)	(712,415,555)	(701,325,342)
(売買損益相当額)	(△1,251,252,260)	(△1,233,307,507)
分配準備積立金	282,902,053	290,802,268
繰越損益金	△ 785,664,005	△ 821,879,638

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2025年9月23日～2026年3月23日)は以下の通りです。

項 目	第110期	第111期
	2025年9月23日～ 2025年12月22日	2025年12月23日～ 2026年3月23日
a. 配当等収益(経費控除後)	19,424,350円	18,348,615円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	712,415,555円	701,325,342円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	267,493,343円	276,397,884円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	999,333,248円	996,071,841円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	2,488円	2,525円
g. 分配金	4,015,640円	3,944,231円
h. 分配金(1万円当たり)	10円	10円

○分配金のお知らせ

	第110期	第111期
1万円当たり分配金（税込み）	10円	10円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。